

## 白熱討論！第1回パブリック・ディベート・フォーラム要項

失われた20年、リーマンショック、そして未曾有の災害である東日本大震災と原発事故等は今日の日本社会が抱える多様で深刻な問題を浮き彫りにしました。そのため、わたしたちは過去の成功体験を捨て、新たな取り組みを始めなければならないはずです。

そこで、中央集権から地方分権への転換、ローカルな地域からの日本再生の議論を活性化したいと考えます。明治政府成立から1980年代までは、近代的国家の形成に大いに成果をあげました。それは、強固な中央集権システムによるものです。しかし、上述のように今日の日本は驚くほどに停滞し、活力を失っています。なぜなら、近代化の終焉のなかで、中央集権システムの無力化が進行しているからです。当然、代替システムが問われます。

しかし、九州においては九州新幹線（鹿児島ルート）全線開通により、豊かな九州のポテンシャルを明らかにし、その未来像について議論する大きな機会が与えられたのです。そこで、中央集権に代わる「道州制」をテーマとするディベート大会を企画しました。九州は、九州地域戦略会議において道州制の議論を全国的にもリードしていますが、さらに、一般市民及び企業人も広く議論に参加し、主体的に考えることが欠かせません。

今回のディベート大会では、多大な社会的課題に市民が主体的に取り組み、九州の大いなる発展と力強い日本再生に向けて、ディベートが1つの手段として貢献することを確認しています。

さまざまな団体のご参加、多くの方々のご参観をお願い申し上げます。

- 【主催】 パブリック・ディベート・フォーラム実行委員会  
(社)九州経済連合会・(財)九州地域産業活性化センター
- 【日程】 2011年7月16日(土)  
13:00 開会式 13:30 予選Ⅰ 14:50 予選Ⅱ 16:10 決勝戦 17:00 講演 18:00 閉会式
- 【場所】 都久志会館(福岡市中央区天神 4-8-10 092-741-3335)
- 【目的】 九州で道州制が導入されたことを想定して、各チームが州都を設定。  
その州都を設定したことにより、どのような九州の未来像が描けるか、そのユニークな発想力と討論の力を競うディベート大会。
- 【参加】 九州各地の企業・自治体・大学などの団体(4名以上10名以内)8チームを公募し、予選2試合で、上位成績の2チームで決勝戦を行うディベート大会  
※形式 ①A都市州都宣言 5分間 ②B都市からの質疑 3分間  
③B都市州都宣言 5分間 ④A都市からの質疑 3分間  
⑤A都市反論と比較優位論 4分間 ⑥B都市反論と比較優位論 4分間  
⑦A都市再反論と総括 3分間 ⑧B都市再反論と総括 3分間  
⑨ジャッジコメント・結果発表 (ジャッジは3名で構成)  
参加チームには、事前の道州制やディベート方法についての研修を実施し、全く経験がなくても気軽に参加できるようにいたします。
- 【締切】 2011年6月30日(木) 先着順に8チームの参加を受け付けます。  
申込み・問合せは、(株)セイントクロス(福岡市博多区駅中央街7-2 博多SSビル4F)  
[kiyoshi@saintcross.jp](mailto:kiyoshi@saintcross.jp) まで。